

2018年 新年のごあいさつ

大磯町長

中崎 久雄



明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年(2017年)の4月1日には旧吉田茂邸が開館し、来館者は既に8万5千人を超えるなど、大磯の邸園文化を伝える重要な拠点として賑わいを見せています。また、2月にはノーベル生理学・医学賞を受賞された大隅良典さんへ、名誉町民の称号を贈呈できたことは大変喜ばしいことであります。その一方で、中学校給食など深刻な課題と向き合い続けた年でもあり、強い決意で解決せねばなりません。

町が大きく変化している今、皆さんの一層のご協力が必要で、「健康寿命の延伸」をテーマとした昨年の卓話集会で活発に意見が飛び交う様を見て、皆さんの町を思う気持ちを感じました。町職員も働き方改革を進め、業務の効率化はもちろんのこと、意欲をもって元気に働ける環境づくりに努めています。町の誰もが生き生きとした活力に溢れるまちをめざして、これまで重点的に進めてきた施策を継続していくとともに、「健康×農業」「農業×漁業」といった施策をコラボレーションしての展開を考えてまいります。

町長として2期目の最終年となる今年(2018年)は、明治元年から数えて満150年に当たります。大磯には立憲政治の確立など、国の基本的な形を築いた明治の偉人の多くが居を構えました。昨年、旧伊藤博文邸等を中心とする建物群や緑地を明治記念大磯邸園(仮称)として整備することが決まり、明治の精神を再認識することで町を活性化(2017年)する絶好の機会が訪れようとしています。これまで土壌をつくり、種を蒔き、そして決断し、皆さんと一緒に育ててきた大磯の未来が美しく「開花」するよう、より一層町政に励んでまいります。結びに、皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

大磯町議会議員

関 威國



謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、平素より大磯町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。議員は、町民の代表であり、代弁者であるという責任感を忘れることなく、活動することが責務と考え、その職責を懸命に努めております。

さて、昨年9月定例会中に、中学校給食の残食率や異物混入の問題が全国に報道される事態となり、様々なご意見をいただきました。議会としては、中学生が安心して昼食を食べることが出来る環境整備を町と教育委員会に求めております。今後、一刻も早く中学生が安心して昼食を食べることが出来る環境が整備されるよう議会としての役割を果たしてまいります。

また、議会基本条例を施行してから8年が経過しました。より良い議会運営に向け、議会改革を積極的に行うべく、議会運営委員会においては、ICT化の取組みなど、新たな事項を掲げ、検討を進めております。

さらに、議会の説明責任を果たし、町民の意見を聴取することを目的に開催している議会報告会も8年目を迎えました。小人数に分かれての意見交換では、多くのご意見をいただくようになりました。これからも多くの方に参加してもらえよう、魅力ある議会報告会を推進してまいります。

本年も議会一丸となり、町民の福祉の向上と持続的で豊かなまちづくりの実現を目指し、良識ある言論の府としての議会運営に努めてまいります。

末筆ながら、皆さんのご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のごあいさつとさせていただきます。